



第211号
2024.10月号

医療法人 済衆館 済衆館病院

〒481-0004 北名古屋市長久寺前111番地
TEL.0568-21-0811(代表)
FAX.0568-22-7494
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp
https://saishukan.com

発行/済衆館病院広報委員会

マンスリー 済衆館だより 10月号

裏面:当院のNST活動と入院患者さまの栄養について その1

外来診療担当医表(10月)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	森 糖尿病・膠原病	橋本 呼吸器	森 糖尿病・膠原病	名倉 脳神経機能外科	橋本 呼吸器	多田 第1・3 腎臓
		今村(亜) 循環器	伊藤 脳神経	今村(亜) 循環器	渡辺(修) 消化器	成澤 循環器	柳澤 第2・3・4 呼吸器
		横崎 消化器	鈴木 第1・2・3・4 消化器	横崎 消化器	岡城 循環器	伊藤 脳神経	加藤(新) 糖尿病
		岡城 循環器	渡辺(修) 消化器	多田 腎臓	近藤 第1・3・4・5 循環器	吉田(勝) 循環器	伊藤 第1・3 脳神経 新患のみ 10:30~
		西野 第3・4 糖尿病内分泌	下條 循環器	中島 循環器	吉田(由) 糖尿病内分泌	大塚 消化器	担当医
		舌津 脳神経		大塚 消化器		吉田(由) 第1・3・4 糖尿病内分泌	
外科	午前	川崎	今村(康) 外科・総合診療科	安藤 外科・乳腺外科	今村(康) 外科・総合診療科	佐藤(榮) 外科・肛門外科	勝野 第1・2・3 11:00~
			佐藤(榮) 外科・肛門外科	河合 第1・3・4・5	川崎	安藤 外科・乳腺外科	河合
眼科	午前	祖父江	半田	半田 祖父江	半田	半田	半田 第1・3 祖父江
	午後 受付時間	半田 13:30~15:00	祖父江 13:30~15:00	半田 第1・2・3・4/祖父江 13:30~15:00	祖父江 13:30~15:00	祖父江 第1・2・4 13:30~15:00	
小児科	午前	植	植	植		植 第1・2・4	植
	午後 受付時間	植 15:00~16:00	植 15:00~16:00			植 第1・2・4 15:00~16:00	
整形外科	午前	中里	松本	新海	中里	新海	南谷
		松尾	村山	相羽	松尾	岩瀬	佐伯 第1・3 早川 第2・4
歯科・口腔外科	午前	梅村	梅村	梅村	梅村	梅村 第3 担当医	
皮膚科	午前				休診		

専門外来

	月	火	水	木	金	土
内科	消化器・肝臓 栗木 予約制 14:30~15:30	心不全 弁膜症外来 吉田(勝) 予約制 13:30~15:30	糖尿病内分泌 宮田 13:00~15:00	消化器・肝臓 栗木 予約制 13:30~14:30	心不全・ ペースメーカー 中島 予約制 13:30~15:30	
	IBD/便秘外来 渡辺(修) 第1・4 予約制 14:00~16:00				老年内科 梅垣 第2・4 予約制 14:00~16:30	
	腎臓 多田 14:00~15:00	腎臓 加藤(朋) 13:30~15:00	呼吸器 柳澤 予約制 14:30~15:30	腎臓 多田 13:30~15:00		
外科	乳腺外科 秋田 予約制 9:00~10:30	脳神経外科 飯塚(第1・3・4・5) 14:00~15:30	手の外科 平田 予約制 14:00~16:00	泌尿器 遠山 受付時間 ~13:45	脳神経外科 飯塚 第1・2・4 14:00~16:00	形成外科 担当医 9:00~10:00
	緩和ケア 秋山 13:30~16:00	脳神経外科 担当医(第2) 14:00~16:00	乳腺外科 佐藤(成) 第1・5 予約制 14:00~16:00	脳神経外科 飯塚(第2) 14:30~16:30		脊髄外科 西村 第1・3 9:00~11:30
	内分泌外科 日比 第4 予約制 15:00~16:00	小児外科 勝野 13:00~16:00	脳神経・脊髄外科 担当医 14:00~16:00	脳神経外科 渡邊(督) 第1・5 14:00~16:00		脊髄外科 担当医 第2・4 9:00~11:30
	内分泌外科 越間 第1・3 予約制 14:00~16:00	内分泌外科 富家(第2・4) 14:00~16:00		脳神経外科 担当医(第3・4) 14:00~16:00	脳神経外科 担当医 第3 14:00~16:00	
	脳神経外科 担当医 第4 14:00~15:30	手の外科 新海(第1・3・5) 予約制 13:30~15:00	泌尿器科 担当医 14:00~15:30	血管外科 今枝(第1・2・3・5) 14:00~16:00		泌尿器 担当医 9:00~12:00
	脳神経外科 水頭症外来 飯塚(第1・3) 予約制 14:00~16:00					

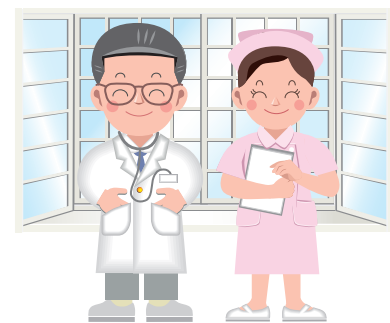
健診・ドックセンター

●人間ドック ●企業健診

●特定健診 ●特定保健指導

40歳から74歳の健康保険(国民健康保険、健康保険組合、全国健康保険協会、共済組合など)被扶養者(家族)の方も対象となっております。

健診・ドックセンター
TEL.0568-58-1535(直通)

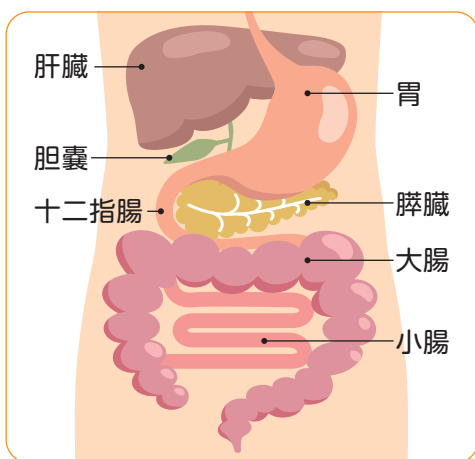


★外来は、原則として予約とさせていただきます。 ★受付時間 午前8:30~11:30 午後の専門外来は診察時間の30分前からとなります。 ★診察時間 午前9:00~12:00
★都合により担当医師が変更となる場合があります。 ★日曜、祝日、時間外は救急外来での診察となります。
★急患の場合はお電話ください。時間外・休日も診察致します。 TEL.0568-21-0811(代表)



NST (Nutrition Support Team 栄養サポートチーム) という言葉を聞かれたことはありますか?

食事や栄養は、私たちの生命を維持するうえで無くてはならないものです。闘病中の患者さまにとって、栄養状態を良好に保つことは、病気の回復促進、合併症予防、治療に耐えうる体力維持のために大きな役割を果たします。また食事は、人間の生活の楽しみでもあります。治療中でも「おいしい」と感じながら食べることは、患者さまの生活の質を高めるうえで重要です。



『消化管』(特に小腸)は、人間の体の中で最も大きな免疫臓器であり、正常に機能していれば、全身の免疫系のおよそ60~70%は消化管が担っているといわれています。小腸や大腸などは、消化管に入ってきた食物(栄養)を自らの栄養源としていますので、消化管に食物(栄養)が入ってこない、消化管の粘膜細胞が萎縮してしまい、正常な機能(消化吸収や免疫)を失ってしまいます。また、小腸の粘膜が萎縮することによって、消化管内の菌が体内に入り込み、感染症(バクテリアルトランスロケーション)を起こしてしまうこともあります。

“栄養”を摂取する場合、『経腸栄養』と『経静脈栄養』の大きく分けて2種類の栄養摂取方法があります。

『経腸栄養』には、「経口栄養」(口から食事を食べる)と「経管栄養」(経鼻胃管やPEG:経皮胃ろう・腸ろうから栄養剤を注入)があり、『経静脈栄養』には、「末梢静脈栄養」(腕などの細い血管からの、薄い濃度の栄養輸液)と「中心静脈栄養」(鎖骨下静脈などの太い血管からの、濃度の濃い栄養輸液)があります。『経静脈栄養』はどちらも直接血管に点滴を行います。

経静脈栄養のみでは消化管を使用しないため、前述の通り消化管機能の低下を招く恐れがあります。また、血管に針を挿入すること自体が、感染症の原因となる可能性があります。

そのため医療現場では、特別な場合を除いて『経腸栄養』を第一選択としています。一番自然なのは経口栄養ですが、嚥下(のみ込み)障害のある方など、口から食事が十分に摂取できない場合には、経鼻胃管やPEGなど、患者さま・ご家族の意向も考慮しながら、適切な栄養摂取方法を選択しています。

当院でも、昨今高齢の入院患者さまが多く、入院のきっかけとなった病気や病状期間・基礎疾患の有無にもよりますが、経口摂取量が低下し低栄養に陥っている方が多い傾向です。このような患者さまは、低栄養に伴う食べる意欲の低下・廃用性摂食嚥下機能低下・認知機能低下が問題となり、食事摂取量がなかなか確保出来ない状況に陥りやすいです。このような患者さまがNST介入対象症例となる事が見受けられます。

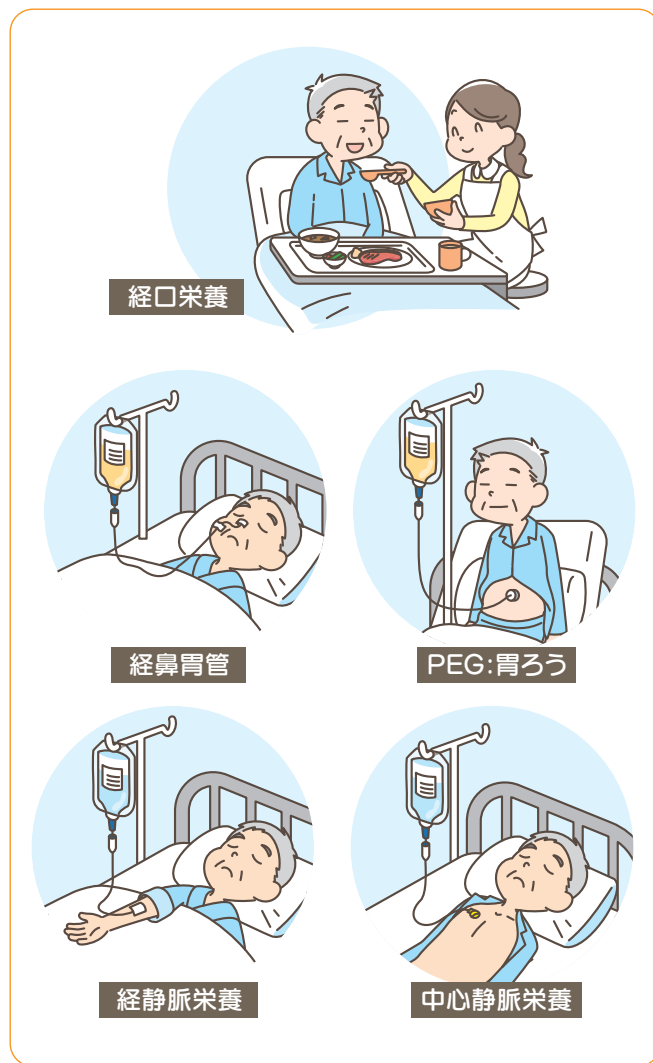
NSTとは、Nutrition support team(栄養サポートチーム)の略名です。

NSTのはじまりはアメリカです。1968年にS. T. Durickが中心静脈栄養(Total Parenteral Nutrition、以下、TPN)を開発したことにより、これまで経口摂取が難しく、栄養障害をきたしていた多くの患者さまを救いました。TPNの普及に伴い、医師をサポートするコメディカルスタッフの需要が高まりました。それぞれの専門職種が栄養管理や輸液管理などを担当し、チームとして連携するようになったことで、現在のNSTへ発展してきました。

日本でNSTが普及し始めたのは1998年ごろです。アメリカではTPNを主としてNSTが発展していった事とは異なり、日本の栄養管理は静脈・経腸・経口すべてに一貫した対応をしていることが特徴です。栄養障害のある患者さまだけでなく、潜在的にリスクを持っている患者さまも見落とさない点が、日本独自のポイントとなっています。

今号は栄養を中心に説明させていただきました。次号では「当院のNST活動」についてお伝えいたします。

栄養サポートチーム 院長 川崎 晋吾



➡ 次号は「当院のNST活動と入院患者さまの栄養について その2」です

四字熟語

刻露清秀(こくろせいしゅう)

秋の気候や景色のさっぱりと清々しいさま。

- 10月1日(火)~10月31日(木) 乳がん月間/臓器移植普及推進月間/骨髄バンク推進月間/健康強調月間
- 10月1日(火)~3月31日(月) 赤い羽根共同募金運動 ●10月1日(火) ピンクリボンデー
- 10月8日(火) 糖をはかる日/骨と関節の日 ●10月10日(木) 目の愛護デー
- 10月13日(日) 世界血栓症デー ●10月14日(月) スポーツの日
- 10月16日(水) グリーンリボンデー ●10月17日(木)~10月23日(水) 薬と健康の週間

